



オオイタ カルト 第37回 百選 BEPPU

「別府のむかし」揃ってますの巻



「ふこ」は、南国ベニーブの湯」と、ドリフも鼻歌しちゃつた世界に誇る温泉観光地・べっぷ。この頃、またまた別府シンドロームにかかりてしまったCONKA。実はワケがありまして……。

別府名物『ラクテンチ』から、ほど近い地中海の別荘のようなお住まいが、その震源地。敷地内にある私設史料館には、別府の郷土史料がてんこもりとうワケですわ。史料館に一步足を踏み入れると、そこは満員電車のように、ギッシリと別府だらけ!! はーい、乗車希望します!!

「私の父が始めたんですよ」と、迎えてくれたのは、この史料館の主人、安部浩之さん。昭和46年に「安部教育研究所」という名称で、お父様の故・巖(いわお)さんがオープンして、今に至るとか。巖さんは若い頃から郷土の歴史への関心が深く、お仕事の帰宅後や休日には、新聞の切り抜き整理や古文書の解読に没頭して過ごしていたそうな。

「どこかで、古い倉庫や蔵を解体すると聞きつけたら、カメラを持って飛んでいつてましたねえ」

とにかく別府のあちこちを忍者のよう駆けまわっていたという。今まで「ここなら何か役に立ててもらえるだろう」とダンボールいっぱいの古い史料を持つて訪ねてくる人が絶えないといふ、いわば『史料の身元引き受け人』的存在ってわけなんすね。

ではさっそく、コレクションを見よ!

地図コーナー。あら、まだ路面電車が走っていた頃から、それ以前のずっとずーっと古いものまで、当時の別府を歩いてみたくなったなり。ちなみに地図のゼンリンの発祥の地は別府だったって、む知つてた?

祝辞コーナー。コレはめずらしいよ! いろんな行事、式典でオエライさんが読み上げた祝辞が保存されてるんだか

別府温泉案内

地獄巡り説明入り

福樂院に行き身なれば
決まりしよて
地獄見もよて
今日は東にけり



別府 天然温泉



何から今までベップだらけ！ なんてシアワセな空間でしょっ！



う。目を通してみると、しっかり時代背景がわかつてしまふ、シロモノです。

次の絵葉書＆写真コーナーで、まずはうつかり『地獄めぐり』セットをチヨイス！ ってコレ、やけにリアルでこえ～よ～!! あら、ひょうたん温泉つて、ホントにテカイひょうたんが建っていたのね。ほう。松原公園は「西の浅草」と呼ばれるくらいにスゴかったのかあ。

さらに飛出す絵本風の冊子やアコーディオン型の漫画、重量5キロという重たいアイロン、「愛国行進曲」のレコードなどなど、衝撃の嵐が吹き荒れまくり！ まさに全国座長揃いぶみといった感じなのである。

「理想としては史料館喫茶のような空間にしたいんですよ。誰もが気軽に、ここにあるものを手に取って、感じて欲しいですね」

むむー、貴重な史料ばかりだけど、確かに大切に保管されるよりも、たくさん的人に知つてもらつて、別府のスゴサをわかつてもらいたい。

て、ここでちょっと宣伝。安部さん所の資料をはじめ、大正から昭和の別府の才モシロ記事＆写真が満載の『別府懐かし物語』(小社刊)発売中！ 50円でキミも別府シンドロームに！ 最後に別府の中心で叫びます。ウイーラヴ・ベップ！ ベップ・バンザイ！ ベップ・オブ・ザ・ワールド！ そうだベップへ行こう……(以下エンドレス)

■安部さんの郷土史料館

お問合せ先
TEL0977-23-1534